



み 己 辰 藤 とう さ 佐

## 介護保険事業を振り返り

～保健師などが地域に出向く～

**質**

介護認定率が高いため、健康増進を図り、元気で健康なまちづくりが必要と思うが。

**答** 保健福祉部長

平成22年10月の高齢化率は37.7%で高く、認定率が高い大きな原因と考えられ、要介護者の割合はかなりの重度化の傾向が見られます。

今後は地域の地区診断、地区がどうあるのか分析し、地区自体で健康づくり計画などができるような体制になればと計画中です。



いきいきスマイル教室（大野町）

**質**

「広域化」は必要と考えるが、その対応と対策は。

**答** 市長

安定的な制度運営を図るためにも、制度の抜本的な改革が必要と考え、これまで県市長会および全国市長会に要望してまいりました。

## どうする葬斎場

～建設委員会で協議～

**質**

竹田市との委託分を含めた合計火葬件数をみると、市内に5機の火葬炉が必要と考え

併せて平成18年に大野葬斎場の存続についての陳情を議会で採択している。  
市長の考えは。

**答** 市長

建設基本計画などについては、自然、社会環境条件、立地調査、施設規模、事業費など多角的に検討する必要があります。



大野葬斎場（大野町）



待合室

**質** 場所および住民意識などの問題があり、平成26年度中に完成できるのか。  
**答** 市長 新葬斎場の建設計画を市総合計画に載せており、合併特例債を活用し平成26年度までに完成予定です。

せっそく

拙速すぎないか

## 公立保育所民営化

～保育サービスに支障を来すため決断～



おのやすひで  
小野泰秀

**質**

第2期集中改革プランでは保育所の民営化は計画的、段階的に行うとなつているが、保護者の方に十分説明し理解をしていただくためには、来年4月1日の民間移管は拙速すぎないか。

**答** 市長

保育サービスの低下を招かないよう、最大限努力してまいります。

**質**

移管業者の選定にあつては、公平性、透明性が担保されなければならぬが、その委員会の構成員は。

**答** 市長

副市長、保健福祉部長はじめ9名程度を考えています。

**質**

緒方保育園を公立とした理由と、公立として存続させる期限は。

**答** 市長

「移行期間」として平成24年1月から3月までを考えています。

**答** 市長

「認定子ども園」であるためです。期限は特に定めておりません。

**質**

大切な子どもを預ける保護者の不安の解消や、慣れ親しんだ先生が一度に入れ替わることは子どもたちにとって負担となるため、「移行期間」を設けるべきではないか。



(上)三重東保育所 (下)緒方保育園

課題の多い

## 介護保険制度

～介護給付費の伸びを抑制することが必要～

**質**

本市の保険料が大分県1位となつている要因とその抑制方策は。

**答** 保健福祉部長

要因は、要介護認定者数の増加と介護サービスの利用増によるものであります。

抑制方策としては、訪問看護の充実などや被保険者へ制度の周知・啓発に努め、地域ケア体制の構築を図つてまいります。

**質**

3年を1期として自治体ごとに設定される第1号被保険者の保険料が、来年度は5期目となるが、いくらくらいになるのか。

**答** 保健福祉部長

第4期での伸び率を大幅に上回るのではないかと危惧しています。